

## 平成29年度 前期学校評価について

9月に実施いたしました学校評価アンケート（前期）にご協力いただき、誠にありがとうございました。93.6%の回収率は、保護者の皆様の本校教育に対する思いや願いであると真摯に受け止めております。いただきました学校への評価やご意見等をもとに、今後、次の点に力を入れていきたいと思っております。

**【今後以下の点に力をいれていきます】**

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 児童の基礎・基本の学力の定着を図り、学力向上を目指します。 |
| 2 基本的な生活習慣の定着を目指します。            |
| 3 児童の望ましい人間関係づくりに力を入れます。        |
| 4 読書活動に力を入れます。                  |

なお、評価の分析と具体策は以下を、また、評価の詳細は、別添資料をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

### 1 保護者アンケートから（9月末に実施）

#### (1) 評価の高かった項目（3.7以上）

とても高い評価をいただきました。評価がとても高かった項目は、次のとおりです。

- |                           |
|---------------------------|
| 1 「子どもは、楽しく学校に通っている」(3.7) |
| 2 「子どもを平井小に通わせて良かった」(3.7) |

※得点については、「あてはまる」を4、「大体あてはまる」を3、「あまりあてはまらない」を2、「あてはまらない」を1として換算し、その平均を出したものです。なお、「わからない」は除いています。

#### (2) 今後考えていきたい項目（3.2以下）

どの項目も高い評価をいただきましたが、今後考えていきたい項目は、次のとおりです。

- |  |
|--|
| 1 「子どもは、挨拶などの基本的な生活マナーを身に付けている」(3.0)         |
| 2 「家庭で、テレビやゲームの時間を決め、親子のふれあいの時間をつくっている」(3.1) |
| 3 「子どもは、誰かがつらい思いをしているとき、一緒に考える姿がある」(3.2)     |
| 4 「子どもは読み書き計算などの基礎的な学力を身に付けている」(3.2)         |

#### (3) 今後に向けて（今後、力を入れていく点とその具体策）

##### ○ 基本的な生活習慣の定着を目指します。

児童の健やかな成長のためには、基本的な生活習慣を身に付けることが必要です。本年度は、年度当初に、荒尾第三中校区「できるといいね」を配付し、あいさつや早寝・早起き・朝ご飯、メディアコントロールについて、就学前から中学校までを見通して、荒尾第三中校区全体で、基本的な生活習慣の育成を目指すようにしています。基本的な生活習慣の定着は、心身の健康だけでなく、学力の向上にもつながります。そのために、次の4点に重点的に取り組みます。

- ①「さわやか検査」の継続（毎月2回、火曜日、ハンカチ、つめ、朝食摂取等の調査）
- ②児童会「あいさつ運動」の推進（児童会の主体的な活動、子ども自身が気付き実践）
- ③「メディアコントロールの振り返り」の推進  
（月の最終週の始めから取り組んでもらい、一番頑張った日の記録をして提出）
- ④荒尾第三中校区「早寝・早起き・朝ご飯、メディアコントロール週間」の取組  
（2回目：11月6日～10日に実施予定）

ご家庭の協力がなくては、基本的な生活習慣の確実な定着は図れません。どうかご協力をお願いします。

##### ○ 児童の望ましい人間関係づくりに力を入れます。

児童にとって、学校・学級は、多くの人とふれあう楽しいところでなくてはならないと思います。いじめのない互いのよさを認め合う望ましい人間関係づくりに力を入れていきます。そのために、次の3点に取り組みます。

- ①豊かな心を育てる道徳の時間の充実（教師も校内研修で授業づくりの研修をしています。）
- ②「にこにこタイム」の充実  
（毎週木曜日の朝活動の15分間、子どもたちが人間関係づくりを体験する時間）
- ③毎月のアンケートを踏まえた教育相談の充実  
（いじめや悩んでいることを相談する時間の確保、相談窓口は担任または教頭です。）  
ご家庭でも、お気付きの点やご心配なこと等ありましたら、遠慮なくご相談ください。

### 2 児童アンケートから（9月末に実施）

児童に対しても9月末に学級でアンケートをとり、自分の生活を見つめ直す機会としました。

#### (1) 評価の高かった項目（3.7以上）

評価がとても高かった項目は、次のとおりです。

- |  |
|--|
| 1 「学校（先生）は、自分や相手の心を大切にし、命を大切にすることを教えてくれる」(3.9) |
| 2 「登下校などいつも交通事故に気を付けている」(3.9)                  |
| 3 「外で体を使って遊んだり、運動したりしている」(3.8)                 |
| 4 「学校（先生）は、分かりやすく勉強を教えてくれる」(3.8)               |
| 5 「学校（先生）は、きまりや約束を大切にしようとしてくれる」(3.8)           |

- 6 「先生は自分が努力したことをほめたり、認めたりしてくれる」(3.7)
- 7 「平井小で学んで良かったと思う」(3.7)
- 8 「家では、家の人とよく話をしている」(3.7)

(2) 今後考えていきたい項目 (3.2以下)

児童が生活を見つめ直した結果、評価が低かった項目(3.2)以下と、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が高かった(10%以上)だった項目は、次のとおりです。

- 1 「家では、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めている」(3.1)(22.9%)
- 2 「自分の考えや思いをはっきり相手に伝えている」(3.4)(16.3%)
- 3 「図書室に行ったり、よく読書をしたりしている」(3.4)(14.8%)
- 4 「好き嫌いなく食事をとっている」(3.4)(14.8%)
- 5 「家ではよく手伝いや仕事をしている」(3.4)(13.9%)
- 6 「毎日、家で決められた時間以上の家庭学習をしている」(3.5)(12.0%)

(3) 今後に向けて(今後、力を入れていく点とその具体策)

○ **基礎・基本の学力の定着を図り、学力向上を目指します。**

児童にとって、授業がわかり、学習内容が定着していくことは、大きな喜びにつながります。授業ではみんなが「分かる」ことを目指し、学力充実の時間や家庭学習を確実に行うことで、自信を持ってできるまで高めていきます。

そのために、次の4点に重点的に取組ます。

- ① 「あらおベーシック」の確実な推進  
(児童の主体的な学びの中で、確実に基礎的・基本的事項の理解を図ります。)
- ② 「チャレンジ10」(5校時直前の10分間の学力充実)の計画的な実施  
(漢字や計算の基礎・基本を身につけるようにする練習の時間を充実させます。)
- ③ 話の聞き方や姿勢など学びの態度づくりの徹底(集中して学ぶ力をつけます。)
- ④ 家庭学習の習慣化(「10分×学年+10分」以上、学習内容の確実な定着を目指します。)

○ **読書活動に力を入れます。**

本校では、各学年で保護者の皆様による読み聞かせが計画され、年間を通して実施いただいています。また、「てぶくろの会」の皆様による読み聞かせもあり、良書に触れる機会も多いと言えます。読書は「心の宝物」とも言われます。読書活動を推進するために、次の4点に力を入れていきます。

- ① 児童が行きたくなる魅力的な図書室づくり  
(司書と協力し、新刊本や季節にあった本の展示等に努め、毎月掲示物を張り替えます。)
- ② 1人年間100冊の読書目標冊数への挑戦  
(100冊達成児童には図書委員会から、手作り葉をプレゼント)
- ③ 読書の質の向上(各学級に10冊ずつお薦めの本を置き、11月は読書ビンゴを実施)
- ④ 毎週月曜日の朝の読書の時間の充実  
(市立図書館と連携し、学級文庫に50冊ずつ常に本を配置)

夏休み中から市配置の司書が勤務しており、図書室が魅力あるものになってきています。図書室の本は、保護者の皆様にも貸出を行っています。ぜひ、ご家庭でも、読書の楽しさを味わう時間を作っていただくなどして、家庭読書の推進にご協力をお願いします。

3 **第1回学校評議員会(兼 学校関係者評価委員会)の協議から**

10月16日(月)に学校評議員会(兼 学校関係者評価委員会)を開催し、学校評議員等の皆様から、今回の学校評価アンケートの結果について協議いただきました。全体として、学校の様子等について高い評価をいただきましたが、今後、さらにより学校となるように下記のご意見をいただきました。

- ① 学校の課題である学力向上に関して、基礎・基本の学力の定着を目指す「チャレンジ1」の取組は大変良い。今後も工夫し、継続して取り組んでいただきたい。
- ② 家庭でのテレビやゲームの時間や家庭学習については、保護者と児童間に意識の差がある特に、インターネットやスマートフォン等の使用による高額請求のネットトラブルもよく題になる。児童の健全育成や望ましい生活リズムの点から、家庭でもルールづくり等、是話題にしていきたい。
- ③ いじめのない学校づくりの取り組んでいるが今後相談しやすい体制や雰囲気づくりも大切ある。
- ④ 児童、保護者の意識を比べるために、アンケート項目を関連させるなどの工夫を考えたらかうか。

全職員一体となって、以上の取組を行っていきます。保護者の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

\*結果の詳細は、資料①-1(保護者アンケート結果)、資料①-2(児童アンケート結果)もご覧ください。

\*いただいたご意見は、資料②をご覧ください。